

# 結ぶ

朴 善化

박 선화

Park Sunhwa Exhibition

2020年  
1月31日[金]  
―  
2月16日[日]  
11時 \_ 19時

Gallery P A R C  
GRAND MARBLE

朴 善化（ぱく・そな）は、二〇〇〇年に京都市立芸術大学美術研究科修士課程研究留学生として来日、二〇〇五年同美術研究科修士課程保存修復専攻修了、二〇〇九年同博士課程美術専攻（保存修復）領域修了、以後もおもに日本・韓国で仏教絵画の制作・保存修復に携わっています。

仏教の教義や思想・世界観を物語る、あるいは信仰の場において人々が祈りや想いを捧げる対象としてあらわされた仏教絵画は、貴重な素材や高い技術が用いられて表現されています。しかし膠をはじめ、顔料や紙や布などの自然由来の材料の多くは、その物質的な性質から経年変化するものでもあり、仏教絵画は、そこに託された祈りや想いを永く未来に伝え・残すため、表現する技術のみならず、保存・修復の技術とともに発展してきたともいえます。つまり、永い歴史の中で表現として深められた仏教絵画は、同時に高められてきた保存・修復の技術によって現在にまでその姿をとどめ、今と往時の人々の想いを結ぶ役割をも果たしているといえます。

朴 善化はおよそ二〇年前に日本を訪れて以降、韓国高麗時代から朝鮮時代に至る仏教絵画の模写に取り組むなかで、描画技法の研究だけではなく、和紙や藍などの素材、保存・修復の技術や社会で果たす役割などについて熱意を持って研究してきました。朴は、かつて描かれた線を筆で辿り、往時の材料や技術を知るなかで、描いた人やその表現だけではなく、絵や素材に託された多くの人の想いを受け取り、共有しようとしている自分に気付くようになったと言います。朴にとって模写や制作に取り組む時間は、作品だけでなく、自身をも深く見つめるための「想い」の時間でもあるともいえ、その思いは、二〇一八年のギャラリー・パルクでの個展「想い」をはじめ、これまでに幾度となく作品に託されて私たちに示されてきました。

ギャラリー・パルクでは2年ぶりとなる本展『結ぶ』は、その想いをさらに深め、伝えるための機会として開催いたします。来日から二〇年目を数え、今も日本・韓国を往き来しながら仏教絵画の模写・研究に取り組む朴は、自身の体験として両国の文化的な結びつきを強く意識するようになったといいます。また、現在、自身が学んだ修復の技術や思いを、韓国の若者へと伝えることにも積極的に取り組む朴は、そこに国だけでなく、人の縁や結びの連なりをも感じているのではないのでしょうか。

本展二階展示室では〈美黄寺掛仏幀 龍女 部分模写〉など、近年の取り組みの成果を、四階では二〇〇一年の〈平治物語絵巻 六波羅行幸巻 部分模写〉など、およそ二〇年前におよぶ留学以降の取り組みを中心に展示しています。朴の取り組んできた仏教絵画の模写による作品およそ五〇点を展示する本展では、その試行錯誤の変遷とともに、日本・韓国の文化の足跡をも見ることができるようではないでしょうか。

## 展覧会について

二〇〇年から今日まで、生まれ育った国の文化財である韓国高麗時代から朝鮮時代に至る仏教絵画の材料や技法に興味関心を持ち、その技を読み解く模写にこだわり制作を続けています。

留学で来日した当初、隣国でありながら韓国の文化と日本の文化の違いに翻弄され、故郷の生活を懐かしむ毎日でした。

しかし、生活に慣れるにしたがい、太古からの韓国と日本の結びつきについて、強く意識するようになっていきました。日本の文化と縁を結ぶことによって、祖国の文化をより深く見つめることができるようになりました。

今、日本で学んだ修復の技能と文化財に対する思いを、韓国の若者達に伝えるとともに研究を進めております。

今回の展覧会では、私がこれまで試行錯誤しながら結んできた韓国と日本の文化の足跡として作品を展示いたします。

## 略歴

### 朴 善化

朴 善化 PARK SUNHWA

〔略歴・研究業績〕

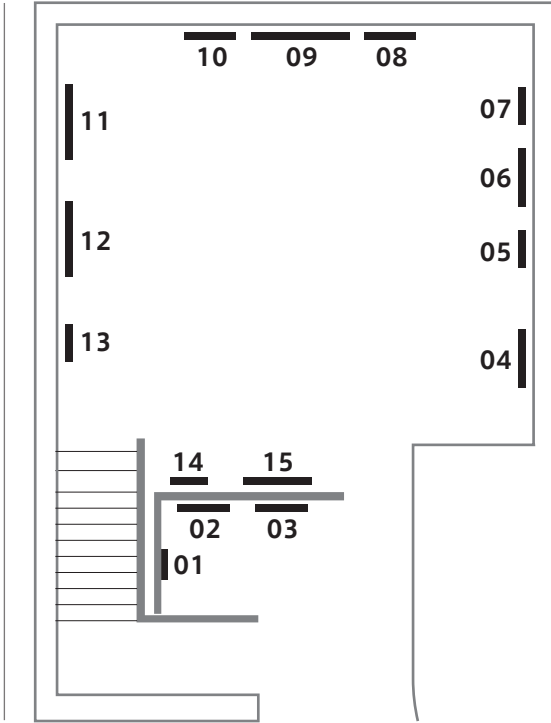
- 二〇〇〇 京都市立芸術大学「研究留学生（日本画・模写）入学
- 二〇〇二 同大学「研究留学生（日本画・模写）修了
- 二〇〇三 京都市立芸術大学「美術研究科修士課程保存修復専攻入学
- 二〇〇五 同大学「美術研究科修士課程保存修復専攻修了
- 二〇〇五 京都市立芸術大学「美術研究科博士（後期）課程美術専攻（保存修復）領域入学
- 二〇〇九 同大学「美術研究科博士（後期）課程美術専攻（保存修復）領域修了博士号取得

〔展覧会〕

- 二〇一九 個展「廻・めぐる 朴善化」〔同時代ギャラリー ― 京都〕
- 二〇一八 個展「想い 朴善化」〔Gallery PARC ― 京都〕
- 二〇一七 ART FAIR SAPPORO (GROSS HOTEL SAPPORO ― 札幌)
- 二〇一六 時・人・朴 善化展 同時代ギャラリー「ラージュ」〔京都〕
- 二〇一六 同時代・アンデパンダン展 ― 開廊二〇周年記念 〔同時代ギャラリー〕
- 二〇一五 風・人・朴 善化展 同時代ギャラリー ― 紡ぐ 〔同時代ギャラリー〕
- 二〇一五 神戸アート・フェスティバル 2016（オリエンタルホテル ― 神戸）
- 二〇一四 ART BUSAN 2016 (ART BUSAN ― 韓国)
- 二〇一四 個展「同時代ギャラリー」〔T1ージツ〕
- 二〇一三 ARTSHOW釜山 2014年（ARTSHOW釜山 ― 韓国）
- 二〇一三 継・つなぐ 〔同時代ギャラリー〕
- 二〇一二 藍の会展（津田画廊 ― 京都）
- 二〇一二 記憶 朴 善化展 〔同時代ギャラリー〕
- 二〇〇九 企画展「もの（こと）わざの真（まこと）を真（まこと）模写作品展 〔同時代ギャラリー〕
- 二〇〇九 招待展 王（わ）真（ま）模写作品展 〔韓国ソウル佛教中央博物館 ― 韓国〕
- 二〇〇二 招待展 王（わ）真（ま）模写作品展 〔韓国通度寺博物館 ― 韓国〕
- 二〇〇二 アルン展 〔京都市立美術館 ― 京都〕
- ― 受賞歴 ―
- 二〇〇五 京都市立芸術大学制作展（同窓会賞）
- 二〇〇四 『楊柳観音図』『水月観音図』（大和文華館所蔵）模写
- 二〇〇四 京都市立芸術大学制作展（奨励賞）
- ― 『五色鸚鵡図巻（ホストン）美術館所蔵』模写
- ― パブリックコレクション ―
- 二〇一九 堀金箔粉株式会社／大方広仏華嚴経第四〇復元模写
- 二〇一八 株式会社グランマール『大方廣佛華嚴経 世主妙厳品 五三善知識』・『世主妙厳品 变相図 模写』・『妙法蓮華経巻第一 部分模写』
- ― 京都王藝際美術館／文殊菩薩・普賢菩薩
- 二〇一七 順天市松廣寺聖賢博物館（松廣寺十六祖師眞影）模写
- 二〇一三 向日市 向日神社『雲龍図』
- 二〇〇九 韓国「ウル佛教中央博物館」〔紺紙銀泥不空羼索神變真言経卷十三 变相図 模写
- 二〇〇八 韓国 廣徳寺『白紙墨書妙法蓮華経 卷三 变相図 模写
- 二〇〇五 株式会社 京都銀行『紺紙銀泥大方広仏華嚴経貞元本卷三十四 变相図』模写

## 展示作品・資料

### 二階展示室



#### 01 大方広仏華嚴経巻第四十七

十一面観音菩薩（高麗時代・十四世紀末）

部分模写

二〇一九年／タテ二〇×ヨリ二〇cm

紫紙（美濃紙、紫根、刷毛染）  
金泥（純金泥黄金24K）〔堀金〕

「大方広仏華嚴経」だいほうこうぶつつけんきょうは華嚴経の正式名称ですべてのものが毘盧遮那仏びるしゃなぶつからあらわれたとする大乘仏教経典のひとつ。

〔紫根（こゝろ）〕 多年草「ムラサキ」の根を乾燥させたもので古くから染料として用いられている。

〔金泥 銀泥 金んでい・ぎんでい〕とは、純粋に限りなく近い金・銀を粉末状にして膠水で溶かした絵具のこと。ほかにプラチナを用いた白金泥などもある。

#### 02 月天像（一八四八年・京都市立芸術大学資料館蔵）

模写

#### 03 日天像（一八四八年・京都市立芸術大学資料館蔵）

模写

いずれも二〇一三年／タテ九六・七×ヨリ三七・八cm

美濃紙・墨

#### 04 竹林寺 世尊掛仏幀（朝鮮時代・一六二二年）

復元模写

二〇一七年／タテ九八・二×ヨリ五四cm

手漉き韓紙〔張紙類〕  
藍24K〔堀金〕

藍紺丸、天然岩絵具（緑青、群青、辰砂など）〔放光堂、膠、胡粉、代赭、黄土、鬱金、墨、臙脂綿、鉛白〕など

全羅南道・羅州市にある縦五一四×横二七五cmにおよぶ掛仏（法会をおこなうため屋外に掛けて用いる仏画）をおよそ二五％ほどに縮小した復元模写。竹林寺掛仏は、韓国に現存する七〇数点の掛仏の中で最も古い掛仏。

〔臙脂綿（えんじわた）〕 インド、ミャンマーなどアジアの南方地方に生息するラックカイガラムシの分泌物より抽出した色素を顔料化して綿に染み込ませたもので、生臙脂（きえんじ）ともいう。日本には奈良時代頃から輸入され、昭和初期には友禅染や紅型（びんがた）染にも用いられた。綿は円盤状に加工されているがこれは輸送に適するためと考えられる。古来の製造法が伝わっておらず、貴重な色料。

〔代赭（たいしゃ）〕 赤茶色系の顔料。古くは天然鉱物の赤鉄鉱（ヘマタイト）を砕いてつくっていた。弁柄（へんがら）と同義で使われることがある。

〔辰砂（しんしゃ）〕 赤色系顔料。朱砂、朱砂、丹砂、丹朱ともいう。古くは天然に産出する純度の高い辰砂鉱を砕いてつくっていたが、現在では主に人工的に結晶化した硫化水銀を粉砕して顔料にしている。粒子が細かいと黄味を帯び、粗いと深紅色になる。成分は朱と同じであるが辰砂は岩石を粉砕してつくるため粒子があり、色味に違いがある。使用するときには皿に焼き付けてから溶き下ろす。

〔鉛白（えんぱく）〕 鉛から生成される白色顔料。

#### 05 美黄寺 掛仏幀（朝鮮時代・一七二七年）

龍王 部分模写

二〇一九年／三二・五×二三・五cm

韓国の手織絹

黄金箔24K〔堀金〕

藍紺丸、天然岩絵具（緑青、群青など）〔放光堂、臙脂綿、鉛白など〕

#### 06 修道寺 盧遮那仏掛仏幀（朝鮮時代・一七〇四年）

模写

二〇一九年／タテ六〇×ヨリ四八cm

韓紙〔張紙類〕

金泥（純金泥黄金24K）〔堀金〕、白金泥特製〔堀金〕

天然岩絵具（緑青、群青、辰砂など）〔放光堂、膠、胡粉、代赭、黄土、臙脂綿、鉛白など〕

#### 07 美黄寺 掛仏幀（朝鮮時代・一七二七年）

龍女 部分模写

二〇一九年／タテ三三・三×ヨリ三三・五cm

韓国の手織絹

黄金箔24K〔堀金〕

藍紺丸、天然岩絵具（緑青、群青など）〔放光堂、臙脂綿、鉛白など〕

#### 釈迦三尊図（朝鮮時代・一七二四年・松廣寺聖賢博物館蔵〔韓国〕）

文殊菩薩部分 復元模写

釈迦如来部分 復元模写

普賢菩薩部分 復元模写

いずれも二〇一一年／タテ一四四・五×ヨリ四二cm

手漉き韓紙〔張紙類〕

金泥（純金泥黄金24K）〔東洋金箔〕

天然岩絵具、緑青、白群、白群、胡粉、膠、墨、藍、臙脂綿など

#### 11 大方広仏華嚴経 貞元本巻三十四 变相図（高麗時代・一三三七年）

復元模写

二〇一九年／タテ三三・四×ヨリ七〇cm

紺紙・美濃紙、藍紺丸、漬け染

金泥・純金泥黄金24K〔堀金〕、白金泥特製〔堀金〕

經典の見返しや本文に描かれ、その内容を絵解きする絵画である「経絵」のうち、特に経巻の巻頭に描かれたものを「見返し絵（みかえしえ）」と言つ。釈迦の死後その弟子が仏法を広く伝播するために釈迦の教えを書き写した写経はインドで最初につくられ、以後、仏教が広まったあらゆる地域で行なわれ、中国を経て韓国、日本にも伝えられた。仏教の教えを広めていく上で、写経の持つ意義は大きかったが、写経を行うこと自体が、あたかも伽藍や仏像を飾るように、荘嚴供養する信仰の活動であるとされる側面を持つようになってからは、墨書より荘嚴さが増す金泥や銀泥で筆写が行われるようになった。さらに、その金色と銀色をより引き立てて見せるために、その基底材に白紙より高価な紺紙（おもに藍）、紫紙（おもに紫根など）、褐紙（おもにドングリやクヌギなど）といったの染色紙が使用され、豪華版の装飾経が統一新羅と高麗時代を通じて流行した。本作は藍の貯められた甕の表面にできる泡・藍華を集めたもので染められた美濃紙に金泥により描かれている。

#### 12 妙法蓮華経巻第十一（高麗時代・一三〇四年）

模写

二〇一九年／タテ二二・九×ヨリ五八・八cm

紺紙（美濃紙、藍紺丸、藍絵具、漬け染）

金泥・紫磨純金泥、純金泥黄金24K、白金泥特製〔堀金〕

13 (右) 普賢菩薩

(中) 弥勒菩薩

(左) 弥勒長者

二〇一九年 / タテ四四・五×ヨコ三九 cm

紺紙(美濃紙、韋草紙工房、藍紺丸、漬け染)、紫根刷毛染

弥勒長者は純金泥特製(堀金)、弥勒菩薩は金24 K(堀金)、普賢菩薩は白金泥堀金

14 (右) 普賢菩薩善知識

(左) 文殊師利童子善知識

二〇一九年 / タテ四四・五×ヨコ三九 cm

(右) 紺紙(美濃紙、韋草紙工房、藍紺丸、刷毛染)

金泥(紫磨純金泥)(堀金)

(左) 美濃紙(韋草紙工房、紫根、蘇芳、刷毛染、金泥(純金泥黄金24 K)(堀金)

【蘇芳(すお)】 赤紫色系染料。マメ科の小高木で、木芯部分から染料成分となるフラシレンを採り、媒染に灰汁やミヨバンなどを用いる。絹や麻布、和紙、木製品などの染色に使用される。染液にミヨバンを加えると赤く発色する。

15 (左から) 善財童子上根人 普賢菩薩

薩 摩耶仏母 観自在菩薩

自在主童子

毘盧

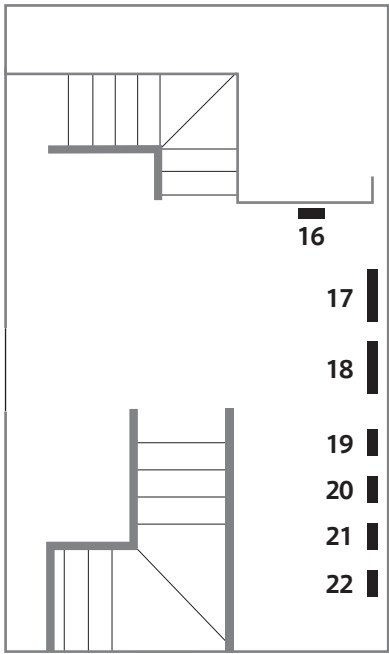
舍那大自在天王

二〇一九年 / タテ五〇・五×ヨコ六七 cm

美濃紙(韋草紙工房)

毘盧舍那大自在天王は紫磨純金泥(堀金)、善財童子、文殊菩薩、白金泥特製(堀金)、他は純金泥黄金24 K(堀金)

三階展示室



16 (右) 摩耶仏母

(左) 観自在菩薩

二〇一九年 / タテ五九×ヨコ三四・八 cm

美濃紙(韋草紙工房、紫根、刷毛染、紺紙のみ漬け染)

観自在菩薩は紫磨純金(堀金)、摩耶仏母は純金泥黄金24 K(堀金)

17 梵網經菩薩戒經法合部(高麗時代・十四世紀末)

模写

二〇二一年 / タテ一七・三×ヨコ三九・四 cm

紺紙(美濃紙、藍華紺丸、刷毛染)

金泥(純金泥黄金24 K)(堀金)

18 妙法蓮華經卷第七(高麗時代・二三八五年)

模写

二〇二一年 / タテ二二・九×ヨコ三六・四 cm

韓紙(張紙房)

金泥(純金泥黄金24 K)(東洋金箔)

19 祈り

二〇一七年 / タテ三〇×ヨコ一〇 cm

紫紙(美濃紙、紫根、刷毛染)

金泥(純金泥黄金24 K)(堀金)

20 祈り

二〇一九年 / タテ三四×ヨコ二二 cm

紺紙(美濃紙(韋草紙工房、藍紺丸、漬け染)

金泥(純金泥黄金24 K)(堀金)

21 毘盧舍那大自在天王

二〇一九年 / タテ三四×ヨコ一〇 cm

紫紙(美濃紙、紫根、刷毛染)

金泥(純金泥黄金24 K)(堀金)

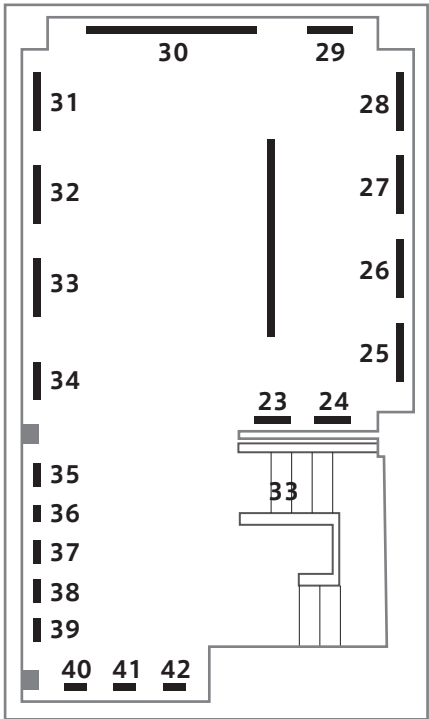
22 供養

二〇一七年 / タテ二六・五×ヨコ二二 cm

紺紙(美濃紙(韋草紙工房、藍紺丸、漬け染)

金泥(純金泥黄金24 K)(堀金)

四階展示室



23 海老図 模写

二〇〇〇年 / タテ二六×ヨコ二九 cm

美濃紙

天然岩絵具(白緑「放光堂」、胡粉代赭、膠、墨など)

24 禽浴図(宋元時代) 模写

二〇〇〇年 / タテ三三×ヨコ二四 cm

美濃紙

代赭、黄土、胡粉、墨、膠など

この海老図と禽浴図は、留学した2000年の研究生の時の課題。初めて取り組んだ模写。

25 新羅白紙墨書大方広仏華嚴經变相図(統一新羅、七五五〜七五六年・湖巖美術館所蔵(韓国))

二〇〇六年 / (右) タテ二二・七×ヨコ一〇・九 cm (左) タテ二四×ヨコ九・三 cm(描写部分)

韓紙(張紙房、化学染め)

金泥(純金泥黄金24 K)(東洋金箔)

26 紺紙銀泥不空羂索神变真言經卷十三变相図(高麗時代・二二五年・湖巖美術館所蔵(韓国))

二〇〇五年 / タテ一八・七×ヨコ五一 cm

紺紙(楮を藍で染めて紙漉き)(張紙房)

金泥(純金泥黄金24 K)(東洋金箔、銀泥(東洋金箔)

27 紺紙銀泥大方広仏華嚴經周本卷三十七变相図(高麗時代・一四世紀・湖林美術館所蔵(韓国)) 模写

二〇〇五年 / タテ一七・五×ヨコ四〇 cm

紺紙(楮を藍で染めて紙漉き)(張紙房)

金泥(純金泥黄金24 K)(東洋金箔)

28 白紙墨書妙法蓮華經卷三变相図(朝鮮時代・一七四一年) 模写

二〇〇六年 / タテ四一・一×ヨコ六五・三 cm

縦手漉き(韓紙、張紙房、\*藍紙は藍紺丸で染めた「池加津夫氏」による手漉き紙を漉き返し。砂子は純金泥黄金24 K(堀金)

金泥(純金泥黄金24 K)

【楮(こうぞ)】 クワ科の植物で、古来から和紙の原料とされてきた。本作で使用されている紙は原料の楮を藍で染めたあと、漉いて制作されており、古来の紙の修復を数多く手がける池加津夫氏(高知在住)による。

【砂子(すなご)】 砂子筒(すなごつつ)竹筒の片側に金網を張ったものを通して細かくした箔のこと。またはそれを画面に貼く表現技法、および表現したもの。替水(どろき、膠と水とミヨバンを混ぜた液)を引いた画面に貼き、定着させている。

【楮(こうぞ)】 クワ科の植物で、古来から和紙の原料とされてきた。本作で使用されている紙は原料の楮を藍で染めたあと、漉いて制作されており、古来の紙の修復を数多く手がける池加津夫氏(高知在住)による。

29 僧(ニューデリー博物館所蔵・トルバァント・ユタ壁画八世紀) 模写

二〇〇三年 / タテ三三×ヨコ三三 cm

美濃紙

代赭、黄土、胡粉、墨、膠、など

新疆ウイグル自治区にある古来シルクロードに沿う東西交通の要地・トルバァンにある障壁画の模写。胡粉を使って下色をつくっている。

30 平治物語絵巻 六波羅行幸巻(東京国立博物館蔵) 部分模写

二〇〇一年 / タテ四一×ヨコ一六六 cm

美濃紙

金泥(純金泥黄金24 K)(堀金)

天然岩絵具(緑青、群青「放光堂」、代赭、黄土、胡粉、墨、膠、鎌倉朱、丹など)

研究生での課題として取り組んだもの。『平治物語』は、保元の乱(一二五六)に戦功のあつた源義朝と平清盛との勢力争いに、藤原信頼と藤原通憲(信西)との抗争がからんだ平治の乱(一二五九年)を叙述する。「六波羅行幸巻」は、内裏に幽閉された二条天皇が脱出を図り、清盛の六波羅邸に逃れる場面。天皇と中宮が乗る牛車の簾をはね上げて中をあらためる武士たち(第1段)、美福門院の御幸(第2段)、馳せ参じる公家衆(第3段)、事態を知って狼狽する信頼(第4段)を描く。人物の集団の大小・疎密、その配置の仕方など動きのある群像表現、きびきびした描線と美しい色彩によって、動乱の緊迫した状況をみごとに描き綴っている。

31 大方広仏華嚴經卷第五十九(高麗時代・二三四一〜六七七年) 模写

二〇二三年 / タテ二〇×ヨコ四二・五 cm

紺紙(美濃紙、藍絵具紺丸、刷毛染)

金泥(純金泥黄金24 K)(東洋金箔)

背景の薄い蒼は、薄めた藍を張紙房(韓紙)に刷毛で三度ほど塗ったもので、絵が描かれている紙は同じ藍を美濃紙に何十回も塗り重ねたもの。

32 妙法蓮華經卷第二(高麗時代・一四世紀末) 模写

二〇二三年 / タテ二〇・三×ヨコ三九・五 cm

紺紙(美濃紙、青花紺丸、藍絵具紺丸、刷毛染)

金泥(純金泥黄金24 K)

33 妙法蓮華經第一(高麗時代・一四世紀末) 模写

二〇一七年 / タテ三四×ヨコ六一 cm

褐紙(美濃紙、韋草紙工房、クヌギ・ドングリ、刷毛染)

金泥(純金泥黄金24 K)(堀金)

34 大方広仏華嚴經卷第五十九(高麗時代・二三四一〜六七七年) 部分模写

二〇二三年 / タテ二五・五×ヨコ二二 cm

紫紙(美濃紙、紫根、刷毛染)、金箔(堀金)、プラチナ(堀金)

金泥(純金泥黄金24 K)(東洋金箔)

35 文殊菩薩

二〇一八年 / タテ二五・七×ヨコ一八・三 cm

紫紙(池加津夫氏)による手漉き紙、蘇芳、刷毛染)

沙子(堀金)

36 善財童子上根人

二〇一九年 / タテ三四×ヨコ二二 cm

紫紙(美濃紙(韋草紙工房、蘇芳、刷毛染)

金泥(純金泥黄金24 K)(堀金)

37 供養祈り

二〇一七年 / タテ二二・七×ヨコ一五・八 cm

紺紙(美濃紙(韋草紙工房、藍紺丸、漬け染)

金泥(純金泥黄金24 K)(堀金)

38 祈り

二〇一七年 / タテ二二・七×ヨコ一五・八 cm

紺紙(藍紺丸で染めた「池加津夫氏」による手漉き紙を漉き返)

金泥(純金泥黄金24 K)(東洋金箔)

39 牡丹

二〇一六年 / タテ一八・三×ヨコ二五・八 cm

韓紙(張紙房)

金泥(純金泥黄金24 K)(堀金)

天然岩絵具(緑青、群青「放光堂」、臙脂綿

40 牡丹

二〇一八年 / タテ三六×ヨコ五一・三 cm

手漉き(韓紙(張紙房)

天然岩絵具(白緑、緑青「放光堂」、藍絵具紺丸、臙脂綿、膠、胡粉、墨など)

41 芙蓉

二〇一九年 / タテ二四・五×ヨコ二五・五 cm

韓紙(張紙房)

天然岩絵具(緑青、群青「放光堂」、藍絵具紺丸、臙脂綿、胡粉、墨など)

42 杏の花

二〇一九年 / タテ二〇・八×ヨコ二〇 cm

手漉き(韓紙(張紙房)

天然岩絵具(白群、辰砂、など「放光堂」、膠、胡粉、代赭、黄土、砂子など)